

OS交配



ハウス

◎半促成・雨よけ・夏穫り—12~6月播

◎抑制—7~8月播

オーシャン

● 最高級品質

● 良果安定

● 省力型品種



株式
会社

埼玉原種育成会

特性

最高級品質で、シーズン通じて果形・果長の安定性に優れ、小葉で莖葉の無駄伸びなく省力型の理想の品種

適作型	12～6月まき ハウス半促成～雨よけ 主枝70～40% 一節当り1～2本成 成戻し強い 7月まき(西南暖地8月) ハウス抑制 主枝30～40% 一節当り1～2本成 成戻し強い	果皮と果肉	果皮はうすく、滑らかで軟らかく、 果肉はしまりおいしく、食感は極めて良好
果長・とげ	100g果で21cm シーズンを通して安定 とげの大きさと数は中位	主枝莖	太さ中位 節間中位
果形	首から尻まで良く整った円筒形で、 クズ果が極めて少ない	子づる 孫づる	太さ中位、節間中位 孫づるは中短側枝となり発生良い
果色	全身濃いグリーンでツヤヤカさも抜群	草姿	徒長しにくくカラッと生育し、受光体制が良い
		葉	小さくやや丸型の葉、濃緑で厚い
		収穫量	シーズン通じて秀品多収となる
		耐病性	葉が強く、各種病害に強い

栽培のポイント

初期から成り込むのでしっかりと栽培する

●栽植本数

小葉の品種であるがあまり密植しない事がコツである。
3.3㎡当たり半促成で5株、雨よけやハウス抑制で4.5株位である。

●育苗

鉢育苗では、床土はリンサンを含む腐蝕の多い良質床土を多目にする。定植時に鉢土くずれのない程度に育苗日数をとる。

●元肥

量や質は一般に準じて良い。

生育スピードの早い作型では生育の初期～中期のバランスの良い肥効がその後の草勢や品質、収量に影響するので必ず施用前に土壤検定によって施肥設計をすると良い。肥効の早いものも加えると良い。

●追肥

通常早目が良い。通常10a当たりNで1kg位を夏期で7日位、春秋期で10日間ぐらいの間隔で施用する。

●灌水

定植2～3日前にタツプリ灌水しておき定植日に土中水分の過不足のないように準備する。

定植後、乾き易い抑制では定植苗の倍程の生育をするまでは日々多めの灌水をする。

活着後は、ツルボケの心配がないので旺盛気味に適時行う(締まりのない大柄と違う)。

8～9月の紫外線の強い長日、高温の日中は土壤水分に加えて散水(通路散水や葉水)によって空中湿を高めると良い。

●整枝、摘葉

下位3～4節の枝の早日摘除、下・上段は1節、中段は2節摘芯。孫枝は、込み具合により半放任とする。摘葉は、収穫最盛期を過ぎる頃から古い日陰葉や込みすぎた部位を1回当たり1～2枚を限度として除くと良いが常に全体に巨り収穫果が見え隠れする程度に整える。

●夏期栽培では

アブラムシの飛来予防にハウス回りや天窓に寒冷紗を張るとウイルスに犯されない。

※但し、7～9月の高温期(日中30℃以上夜間25℃以上)で主枝や下節位の子づる果の開花期の栄養生長期に天窓や側窓に寒冷紗を張り巡らせて蜜蜂の飛来がないと果の肥大が充分でなく枯死果や果形が乱れ易いことがあるのでその間だけ冬～春のイチゴのようにハウス内に蜂箱を入れるか全体の天窓の20～30%の部分寒冷紗を除いて天然の蜂が中に入るようにして受粉させると良い。主枝や下節位の子づる雌花の受粉が済めばあとは蜂は不要となる。

●展張後

6ヵ月以上経過した屋根のビニールは洗うと良い。

●最適な台木は

○頑強な根群、病害に強い

○スタミナ抜群

OS交配 エキサイトー輝

OS交配 ゆうゆうー輝



きゅうり・かぼちゃ・メロン育成元
株式会社 埼玉原種育成会
TEL.0480-85-0854(代)



OS交配種子・発売元
株式会社シード
TEL.0480-85-7211(代)